

## 2022年度

## 事業報告書

特定非営利活動法人 JHP・学校をつくる会

## 1 事業の成果

1993年秋に「カンボジアのこどもに学校をつくる会」として発足した当会は、2022年9月で29年目に入った。1年で1棟を目標に始まった学校建設の総実績は着工済校舎を含めて、2022年度末時点で390棟となった。その中で、近年はタイやベトナム国境付近の遠隔地域の学校建設に携わるなど、当会の支援地域はカンボジア25地域中20地域まで広がっている。ソフト面では、当会の長年にわたる支援と働きかけが1要因となり、カンボジア教育省は、2018年より開始したカリキュラム改訂に併せ、小・中学校に週1時間の芸術科目の授業時間を設けることとした。当会は、JICA草の根技術協力事業として2016年3月に採択された「初等科芸術教育支援事業」を同年8月より開始し、カンボジアの全ての子どもたちが学校で質の高い芸術教育を受けられることを目指し、カンボジアの教育省・芸術省とともに活動をおこなってきた。同事業は2022年2月に完了、2022年度はタケオ州におけるパイロット事業を実施した。

当会は、2004年1月1日付けで19番目の認定NPO法人として国税庁より認定された。2018年度に認定の有効期間の更新を東京都に申請したところ、2019年2月24日に認可され、向こう5年間の資格を継続できることになった。この結果、当会は寄付金控除の特典を得られる領収証を継続して発行することが可能となっている。

2022年度は、学校建設事業、教育支援事業、ボランティア派遣事業、災害救援復興事業、啓蒙活動事業と、これらを支える組織運営面の諸活動について、コロナ禍により中止及び活動範囲や規模の縮小を余儀なくされる部分もあったが、その中で比較的順調に実施することができた。

今年度の各事業の主な実績は以下の通りとなる。

## 1-1 学校建設事業の主な実績

## (1)カンボジア

## ①校舎、付帯施設の建設

本年度はカンボジア3州に、小学校4棟10室、校舎補修1棟5室、トイレ4棟14室、手洗い場10基を建設した。これにより、カンボジア国内での校舎建設数はカンボジア20州で370棟（着工済校舎を含む）となった。カンボジア国内の小・中学校は合計9,104校あり、その中で当会は支援校296校（約3.2%）の支援に携わっている。

建設案計	支援学校名	地域	受益者		主な支援内容							
			生徒数	教員数	校舎		トイレ		机/椅子	井戸 水タンク	手洗場	遊具
					棟	室	棟	室				
364	タナック中学校	バットアンバン州	283	9	1	4	1	3	4	1		
365	トップミエン小学校	コンボンズプー州	245	8	1	1			5			
366	オンクローン小学校	バットアンバン州	353	7	1	3			75		1	
367	トラッピヤンドン小学校	トゥポークモム州	216	9	1	2	1	3	50		1	
付帯設備	ベッチョンワール小学校	バットアンバン州	100	4							1	
付帯設備	ブレイバアオ小学校	バットアンバン州	123	3							1	
付帯設備	トゥールスノール小学校	バットアンバン州	142	4							1	
付帯設備	ポートム中・高等学校	スワイリン州	1622	62							2	
付帯設備	バイドムラン小学校	バットアンバン州	212	9						1		
付帯設備	バイドムラン中学校	バットアンバン州	467	28			2	8				
校舎補修	コンターナン小学校	コンボンチャム州	1513	21	(1)	(5)						
付帯設備	ロー小学校	コンボンチャム州	193	4					25		1	
付帯設備	ブレイスノール小学校	ブレイベン州	193	5							1	
付帯設備	コンボート小学校	コンボンチャム州	285	7							1	
2022年実績			5,947	180	4	10	4	14	159	2	10	0
368	ボチバラン小学校	ブレイベン州	438	11	1	5						
369	チョーチュレイ小学校	クラチエ州	112	5	1	3						
370	オンクナー小学校	コンボンズプー州	497	10	1	3						

\* 364の机、椅子は日本からのリサイクル品を160セット寄贈。教師用4セットのみ現地購入

\* 実績の（）内の数字は、既存施設の補修棟数と室数を示します。2022年の実績には加算されません。

\* 368-370校目は2022年度内に未完成のため、実績は2023年度に加算されます。

## ②「江東区」及び「江東区海外リサイクル支援協会」との連携で中古机・椅子を輸送

200 セットのうち 160 セットをバットアンバン州のタナック中学校に、残り 40 セットをプノンペン都にあるクバルチュオイサクラ小学校に寄贈した。また、2023 年度の寄贈に向け、関係者のみで椅子と机 170 セットを修繕し、楽器と寄贈ユニフォームの積み込みを行った。

## ③衛生教育

2022 年度は、トイレ 4 棟 14 室、手洗い場 10 ヶ所を建設した。

### (2) ネパール

ネパールでの学校建設は、2022 年度末までに合計 19 棟 80 教室を贈呈することができた。

## 1-2 教育支援事業の主な実績

### (1) 初等科芸術教育支援事業

2017 年から 2022 年に実施された JICA 草の根パートナー型「カンボジア王国 初等科芸術教育支援事業」では、第一版の教科書、指導書の作成やトレーナーの育成等を行った。事業は 2022 年 2 月に完了したが、コロナ感染拡大による学校閉鎖や行動制限等により、一部の事業が延期を余儀なくされた。感染症の状況が落ち着いた 7 月に、パイロット事業地であるタケオ州にて、教科書の配付やモニタリングが再開された後、続いて 11 月には教員向け研修会の実施、2023 年 2 月には各小学校でモニタリングが実施された。

2023 年 4 月には、モニタリングの結果を受けて研修内容を考え、タケオ州の小学校を会場にフォローアップ研修を実施する予定となる。ナショナルトレーナー\*の研修指導力向上とタケオ州の小学校教員の授業指導力向上を目指す。

#### ■タケオ州の各小学校への教科書配付

感染症の拡大が収まった後、各小学校 4 校へ児童用教科書と教師用指導書の配布を行った。配布時には、指導書や教科書の基本的な使用方法を説明し、質疑応答の時間も設けた。各学校で教科書を元に授業を実施してもらい、動画や写真でその様子を報告してもらった。この結果は第一版の教科書改訂に用いられる。

#### ■タケオ州初等科芸術科教育指導法研修会

タケオ州教育局にて美術・音楽それぞれ 4 日間の研修会を実施した。4 校の小学校から各学年 1 名の教員と校長、郡や州の教育局職員が参加し、ナショナルトレーナーによる指導を受けた。

感染症拡大前に 1 年生から 3 年生の学習内容についての研修は終了していたため、今回は 4 年生から 6 年生の学習内容について実施した。

参加者は、ナショナルトレーナーによる模擬授業に児童役で参加したり、グループごとに指導案を作成し、代表者が模擬授業を行ったりと、とても積極的に参加していた。

## ■鑑賞領域の研修会を実施

1月から2月にかけて、3日間の日程でナショナルトレーナー対象の鑑賞領域の指導法研修を実施した。1日目は日本の指導法を児童役になって体験してもらい、2日目はCCHの児童を前にカンボジアの題材で行う授業を参観してもらった。3日目はナショナルトレーナー2名が作成した指導案に基づきCCHにて授業実践をした。

## ■ タケオ州での授業モニタリング

2023年2月に対象校4校の授業モニタリングを行った。ナショナルトレーナー、教育省職員と共に、教員が第一版の教科書・指導書を使用して児童に指導する様子を参観し、そこで気づいたことを元に、改訂に向けた協議を行った。

## (2)フォローアップ事業

これまでにカンポット・スバイリエン州で実施した美術教育支援パイロット事業、そして、プレイベン州のコンポントライク郡で実施した音楽教育パイロット支援事業。これらの対象地において、郡の教育局や対象校が、それぞれ自分たちの手で美術・音楽活動を継続していくために必要とされる支援を継続している。また、指導者がいながらも、楽器の不足で音楽の授業の実施が難しい学校や教育機関などへの楽器寄贈も、幅広く行っている。

### ○音楽（プレイベン州コンポントライク郡）

#### 【音楽講習会および郡や対象校による音楽イベントの開催支援】

新型コロナウイルス感染拡大により、集会在り制限されたことから、学校主催のイベント開催は見送られた。2023年度は、コロナ禍での新たな活動の形を対象地域や学校と協議していく予定になる。

### ○美術（カンポット州、スバイリエン州、プノンペン都）

#### 【美術の授業の継続、自校開催の絵画展などを目的とした画材の寄贈】

カンポット・スバイリエン両州の32校における美術の授業の継続、ならびに自校開催の絵画展の実施を側面支援するために、画材の寄贈を実施しました。

#### 【第10回ミツバチの一枚画コンクール】

㈱山田養蜂場様が主催する当コンクールに、今回はプノンペンにあるCCH(P14)とカンポット州、スバイリエン州の学校から子どもたちが参加し、計4名が海外部門で入選した。

### ○楽器寄贈

#### 【地域や学校への楽器寄贈】

リクエストの届いた各州の教育機関への楽器寄贈を行った。寄贈に際しては、器楽の指導を行える指導者がいること、具体的な指導計画と時間が確保されること、楽器の使用や管理の持続性が考慮されていることなどを確認している。

## (3)CCH・アート・プロジェクト

本事業は、ローラ・ワールドスカラシップ基金の支援により2015年より実施している。子どもたちが想像性や感性、創造力、表現力などの資質能力を発揮できる場を提供することを目的とし、様々な自己表現活動を実施している。

### ○アートクラブ

毎週金曜日をアートクラブの日として、美術や音楽に関わる様々な表現活動を行っている。今年度は、参加した子どもたちにNom Popok\*様が製造した栄養価の高いお菓子を提供している。月1回行われる栄養指導教室では、読み聞かせやゲームが行われ、子どもたちはとても楽しみにしている。  
\*Nom Popok（会社）：カンボジアの抱える社会問題の一つである栄養不良の改善のため、お菓子を通して栄養や健康的な食生活について伝える取り組みを実施されている。

#### ○CAP Festival 2023 の開催

2 月末に 3 年ぶりとなるフェスティバルを開催した。来場者参加型のワークショップや、日頃の練習成果を発表したステージパフォーマンス、作品の展示等を行い、当日は多くの方にご来場いただき、子どもたちはとても嬉しそうな様子だった。

#### (4) 児童養護施設 (CCH: 幸せの子どもの家) 支援

支援は 20 年目に入り、在籍する子どもの数は 2023 年 3 月末現在で 34 人になった。2022 年度も年間を通じて運営面でのアドバイスや財政的な支援を行った。

#### (5) CCH メイクアップ基礎習得プログラム

CCH に在籍する子ども達の、メイクアップ技術習得を目的にした 1 年間の職業訓練を行った。年長の生徒 2 名が、月に 1 度プノンペン市内の美容院に行き、美容技術を学ぶための研修を受けた。2 人は CCH に戻って、美容院で学んだスキルを、希望する 18 名の下級生たちに教えた。このプログラムは、大阪の有限会社スマイル様の全面的な支援によって実施された。

#### (6) 成人識字教育

第 4 期の識字事業は 2022 年 9 月に開講し、現在 100 名の受講生が仕事と勉強を両立しながら合格を目指し、勉強を続けている。第 4 期識字クラスは 2023 年 4 月に修了予定となる。

#### 1-3 ボランティア派遣事業の主な実績

新型コロナウイルスの感染拡大状況と感染拡大防止を考慮し、今年度は実施できなかった。

#### 1-4 災害救援復興事業

##### (1) 東日本大震災

JHP 協賛による宮城県三陸町への桜の木植樹活動において、これまでに植樹した桜は累計 1900 本にのぼる。

##### (2) お米一合運動

今般の新型コロナウイルス感染拡大により、人々の生活は大きく変化した。特に、ひとり親世帯や学生アルバイトの方々を中心に、雇用止めによる失業や、営業時間短縮に伴う収入減で、生活に困窮する事態が増えている。せめて国民の主食であるお米だけでも切らさないようにと、当会は地域の社会福祉協議会と協働して「お米一合運動」に参加してきた。この趣旨にご賛同頂いた方々から、多くのご支援を頂き“フードバンクかながわ”を通じて、お米を必要とされている方々へお届けした。2021 年 3 月から始めた「お米一合運動」は、2023 年 3 月末までに、個人・団体を含め、お米現物 3,550kg、支援金総額 1,450,540 円、参加者延べ 356 名と、多くの皆さまからご賛同いただきました。

#### 1-5 啓蒙活動事業の主な実績

##### 【チャリティーコンサート】

第 17 回目となるコンサートは、2022 年 7 月 30 日 (土)、浜離宮朝日ホールにて開催された。

#### 1-6 上記 1-1 から 1-5 の活動を支える組織運営に関する主な実績

- (1) 2022 年度寄付件数は 661 件、147,891,440 円の寄付収入を得た。
- (2) 新しい寄付の仕組みの「お宝エイド」は、2022 年度に 30,906 円の寄付収入を得た。
- (3) 2006 年より [REDACTED] との連携で実施している、「カンボジア子ども教育基金」の活動を継続した。
- (4) 助成金は 5 件が採択され、各種事業を実施した。
- (5) 財源確保のための各種募集として、書き損じハガキ、未使用切手、デルタ航空マイルなどを募集した。

## 1-7 運営面の主な課題

- (1) 前年度よりも寄付総額は増加しているが、寄付件数は減少している。つまり、個人単位の大口の寄付をいただいている一方で、当会の活動に賛同し引き続き支援をして下さる会員・支援者が減少していることが分かる。また、公益財団法人や企業からの補助金・助成金・寄付などを継続的に受けられたのは、当会が長きにわたり実績と信頼を積み重ねてきた結果と言える。2023年度以降も、寄付金、助成金、会費、事業収益の各予算を達成させ、収益全体を安定的に維持させることが課題となる。
- (2) 年度末の会員数が378名で、これは主に会員・支援者の高齢化に加え、コロナの影響により新入会員が減少したことによる。活動参加企業やカンボジア訪問者の新規入会の促進、若い世代の新規会員増加に力を入れ、会員数を増加させることが課題となる。

2022年度はコロナの影響により活動自体が減少傾向にあり、組織運営面でいくつかの課題も挙げられた。その反面、上述の主な実績の通り、各事業において多くの成果を得ることもできた。

カンボジアやネパールの安定した発展の為には、義務教育のより一層の普及が重要な課題となっている。また、国内外で発生する災害への対応も含め、当会が担うべき活動は一層広がることが想定されるため、今後も各種の啓蒙活動を展開し、活動に対する理解者を増やししながら、より効果的な活動を継続していきたいと考えている。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【105,281】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
学校建設	小・中学校建設 (校舎・付帯設備)	通年	カンボジア	5人	14校の生徒・教員	5,947人	72,172
		通年	ネパール	6人	贈呈校5校	約2,000人	
	衛生教本配布	通年	カンボジア	5人	贈呈校4校	1,097人	
	継続支援(物資等)	通年	カンボジア	5人	贈呈校4校	5,290人	
	候補校調査	通年	カンボジア	5人	6校	約1,500人	
教育支援事業	JICA 草の根 パートナーシップ事業 初等科芸術教支援事業	通年	カンボジア	15人	教育省担当行政官、教員養成校教員、対象郡教育局及び4校の教員等	46人	10,985
	美術フォローアップ事業	通年	カンボジア	5人	対象32校の生徒・教員	約9,600人	
	児童養護施設(CCH)支援	通年	カンボジア	5人	入所児童	30人	
	CCH・アート・プロジェクト	通年	カンボジア	7人	参加児童	94人	
	成人識字教育	通年	カンボジア	8人	識字クラス教員・学習者	100人	
災害救援復興事業	東日本大震災復興活動	通年	宮城県南三陸町	15人	宮城県三陸町の住人	300人	1,347
	お米一合運動	通年	川崎労福協	6人	神奈川県下母子家庭	400人	
啓蒙活動事業	機関紙発行	JHP ニュース(2回) CCH 便り(1回)	東京事務所	8人	会員 サポーター	1,441人 76人	3,907
	ホームページ	通年	東京事務所	1人	一般	20,245人	
	メールマガジン	通年21回発行	東京事務所	1人	会員/一般	1,114人	
	チャリティコンサート	2022年7月30日	東京都内	17人	会員/一般	295人	
組織運営に関する事業	財源確保	通年	東京事務所及び国内各所	10人	会員/一般	約1,500人	10,317
	協力団体提携	随時	東京事務所及び国内各所	5人	会員/一般	約3,000人	
	各種会議	随時	東京事務所及び国内各所	10人	会員/一般	378人	
	運営管理	通年	東京事務所及びカンボジア	5人	会員/一般	約100人	

(2) その他の事業

その他の事業に関しては、実施していない。

## 活動計算書

令和4年4月1日～令和5年3月31日

特定非営利活動法人 JHP・学校をつくる会

(単位:円)

科目	特定非営利活動に係る事業	合計	
<b>I 経常収益</b>	<b>154,898,851</b>	<b>154,898,851</b>	
受取会費	2,333,000		1.5%
受取助成金等	2,830,000		1.8%
受取寄付金	147,891,440		95.5%
受贈益	0		0.0%
事業収益	1,685,640		1.1%
その他収益	158,771		0.1%
<b>II 経常費用</b>	<b>105,281,156</b>	<b>105,281,156</b>	
<b>1. 事業費</b>	<b>95,001,257</b>	<b>95,001,257</b>	90.2%
<b>(1) 事業費人件費</b>	<b>23,276,601</b>	<b>23,276,601</b>	24.5%
給料手当	20,627,214		
雑給	0		
通勤費	330,692		
退職金	0		
退職給付費用	282,000		
法定福利費	1,889,003		
福利厚生費	147,692		
活動費	0		
<b>(2) 事業費その他経費</b>	<b>71,724,656</b>	<b>71,724,656</b>	75.5%
売上原価	0		
建設費	53,428,662		
CCH支援金	551,800		
プロジェクト物資	1,477,453		
海外教育支援援助費	69,563		
トレーニング費	0		
通信運搬費	607,423		
運賃	644,710		
水道光熱費	112,943		
旅費交通費	5,615,418		
広告宣伝費	85,600		
消耗品費	708,006		
什器備品費	0		
諸謝金	499,215		
図書費	6,380		
印刷・製本費	719,412		
修繕費	505,611		
賃借料	1,483,457		
事務所家賃	1,741,476		
保険料	539,279		
租税公課	120,848		
支払寄付金	0		
諸会費	0		
支払手数料	1,496,914		
管理諸費	0		
研修費	0		
減価償却費	1,279,646		
雑費	30,840		



2. 管理費		10,279,899	10,279,899	9.8%
(1)管理費人件費		5,050,797	5,050,797	49.1%
	給料手当	4,208,400		
	雑給	0		
	通勤費	161,240		
	退職給付費用	60,000		
	法定福利費	608,757		
	福利厚生費	12,400		
(2)管理費その他経費		5,229,102	5,229,102	50.9%
	通信運搬費	380,568		
	運賃	108,990		
	水道光熱費	240,373		
	旅費交通費	180,821		
	広告宣伝費	0		
	交際費	42,384		
	消耗品費	56,341		
	諸謝金	0		
	図書費	0		
	印刷・製本費	167,880		
	修繕費	0		
	賃借料	255,535		
	事務所家賃	2,643,960		
	保険料	11,260		
	租税公課	0		
	支払寄付金	0		
	諸会費	31,375		
	支払手数料	946,419		
	研修費	0		
	減価償却費	10,458		
	雑費	152,738		
当期経常増減額		49,617,695	49,617,695	
Ⅲ 経常外収益		2,028,904	2,028,904	
	為替差益	2,028,904		
Ⅳ 経常外費用		907,222	907,222	
	為替差損	907,222		
	固定資産除却損			
Ⅴ 正味財産増加	前期損益修正益		0	
	税引前当期正味財産増減額		50,739,377	
	法人税、住民税及び事業税		70,000	
	当期正味財産増減額		50,669,377	
	前期繰越正味財産額		90,450,068	
	次期繰越正味財産額		141,119,445	

## 貸借対照表

(2023年3月31日現在)

特定非営利活動法人 JHP・学校をつくる会

(単位:円)

科目	金額	科目	金額
《資産の部》		《負債の部》	
【流動資産】		【流動負債】	
現金	1,406,850		
当座預金	2,323,574	未払法人税	70,000
普通預金	125,298,947	未払消費税等	66,200
外貨普通預金	1,820,041	未払費用	75,962
郵便総合預金	777,121	未払金	66,168
郵便振替	5,498,819	預り金	77,380
現預金計	137,125,352	流動負債 合計	355,710
		負債の部 合計	355,710
未収金	132,000		
棚卸資産	542,804	《正味財産の部》	
前払費用	495,000	【正味財産】	
立替金	0	前期繰越正味財産	90,450,068
仮払金	1,528,557	(うち当期正味財産増加額)	50,669,377
学校建設仮払金	0		
流動資産合計	139,823,713	正味財産 計	141,119,445
		正味財産の部 合計	141,119,445
【固定資産】			
車両運搬具	4		
工具器具備品	544,785		
敷金	1,106,653		
固定資産合計	1,651,442		
資産の部 合計	141,475,155	負債・正味財産合計	141,475,155

財務諸表の注記

2023.3.31

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2011年4月1日 2012年3月31日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定額法で償却をしています。

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

(単位:円)

科 目	学校建設事業	教育支援事業	ボランティア派遣事業	災害救援復興事業	啓蒙活動/収益事業	特別基金	JICA	事業費計
【経常収益】								
経常収益 計	75,171,196	5,973,572	0	886,770	2,025,640	119	44	84,057,341
受取寄付金	75,116,194	4,908,288	0	886,770	300,000	0	0	81,211,252
受贈益	0	0	0	0	0	0	0	0
受取助成金等	0	1,000,000	0	0	40,000	0	0	1,040,000
事業収益	0	0	0	0	1,685,640	0	0	1,685,640
その他収益	55,002	65,284	0	0	0	119	44	120,449
【経常費用】								
事業費 計	72,172,731	10,985,322	0	1,347,373	5,607,616	0	4,898,444	95,011,486
事業費人件費	8,021,137	7,108,467	0	10,486	3,284,354		4,852,157	23,276,601
事業費その他経費計	64,151,594	3,876,855	0	1,336,887	2,323,262	0	46,287	71,734,885
売上原価	0	0	0	0	0	0	0	0
建設費	53,428,662	0	0	0	0	0	0	53,428,662
プロジェクト物資	754,594	199,377	0	523,482	0	0	0	1,477,453
トレーニング費	0	0	0	0	0	0	0	0
旅費交通費	2,623,265	2,309,589	0	602,925	47,870	0	31,772	5,615,421
賃借料	851,228	56,429	0	38,610	537,190	0	0	1,483,457
事務所家賃	1,741,476	0	0	0	0	0	0	1,741,476
その他経費	4,752,369	1,311,460	0	171,870	1,738,202	0	14,515	7,988,416
当期経常増減額	2,998,465	-5,011,750	0	-460,603	-3,581,976	119	-4,898,400	-10,954,145

3. 使途等が制約された寄付等の内訳

使途等が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。

(単位:円)

(単位:円)

内 容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備 考
学校建設事業	37,186,760	75,116,194	58,421,866	53,881,088	
教育支援事業 (JHP・藤原紀香子ども教育基金)	5,540,119	4,908,187	5,658,214	4,790,092	連合愛のキャン900,000
ボランティア派遣事業	1,522,236	33,161	660	1,554,737	
災害救援復興事業	200,000	0	0	200,000	
合計	46,946,246	80,944,312	65,388,479	62,502,079	

4. 固定資産の増減内訳

固定資産の増減は以下の通りです。

(単位:円)

科 目	取得価額	期首帳簿価額	期中増加額	期中減少額	当期償却額	期末帳簿価額	償却累計額
有形固定資産							
車両運搬具							
HI-LUX(JHP-C)	3,768,300	1		0	0	1	3,768,299
HI-ACE(JHP-D)	2,637,144	1		0	0	1	2,637,143
HI-LUX(JHP-A)	2,599,750	1		0	0	1	2,599,749
TOYOTA Fortuner(2013)	3,560,050	1,186,684		1,186,683	1,186,683	1	3,560,049
** 車両及び運搬具 計 **							12,565,240
工具器具備品							
コピー機	210,000	1		0	0	1	209,999
コピー機	338,310	31,667		0	0	0	306,643
パソコン	110,080	1		0	0	1	110,079
コピー機	459,657		459,657		61,287	398,370	61,287
ルーター	156,871		156,871		10,458	146,413	10,458
** 器具及び備品 計 **							698,466
投資その他の資産							
敷金	1,106,653	0		0	1,106,653	0	1,106,653
合計	14,946,815	1,218,356		1,186,683	2,365,081	544,789	14,370,359

5. 役員及びその近親者との取引の内容  
役員及びその近親者との取引の内容は以下の通りです。

(単位:円)

科 目	財務諸表に計上された金額	内役員及び近親者との取引
(活動計算書) 受取寄付金	147,891,440	1,000,000
活動計算書計	147,891,440	1,000,000

以上

財産目録  
(2023年3月31日現在)

特定非営利活動法人 JHP・学校をつくる会

(単位:円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
現金	1,406,850	
当座預金	2,323,574	
普通預金	125,298,947	
外貨普通預金	1,820,041	
郵便総合預金	777,121	
郵便振替	5,498,819	137,125,352
その他流動資産		
未収金	132,000	
棚卸資産	542,804	
前払費用	495,000	
立替金	0	
仮払金	1,528,557	
学校建設仮勘定	0	2,698,361
流動資産合計		139,823,713
2 固定資産		
有形固定資産		
車両運搬具	4	
工具器具備品	544,785	544,789
投資その他の資産		
敷金	1,106,653	1,106,653
固定資産合計		1,651,442
資産合計		141,475,155
II 負債の部		
1 流動負債		
未払法人税	70,000	
未払消費税	66,200	
未払費用	75,962	
未払金	66,168	
仮受金	0	
預り金	77,380	355,710
流動負債合計		355,710
2 固定負債	0	
固定負債合計		0
負債合計		355,710
正味財産合計		141,119,445

## 2022年度年間役員名簿

（前事業年度において役員であったことがある全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿）

特定非営利活動法人 JHP・学校をつくる会

## 1 確認事項（法第20条及び第21条を確認の上、チェックを入れてください。）

- 以下の役員には、欠格事由者が含まれません。（法第20条関係）  
各役員について、親族の規定に違反していません。（法第21条関係）

## 2 役員一覧

	役名 どちらかに○	(フリガナ)	前事業年度内の 就任期間	報酬を受けた期間 (該当者のみに記入)
		氏名		
1	○(理事)・監事	(ササヒラミエコ) 笹平 美江子	2022年4月1日～ 2023年3月31日	なし
2	○(理事)・監事	(サエキランコ) 佐伯 蘭子	2022年4月1日～ 2023年3月31日	なし
3	○(理事)・監事	(ヤマオカシュウイチ) 山岡 修一	2022年4月1日～ 2023年3月31日	なし
4	○(理事)・監事	(サヤリュウイチ) 佐谷 隆一	2022年4月1日～ 2023年3月31日	なし
5	○(理事)・監事	(ワキタトモコ) 脇田 知子	2022年4月1日～ 2023年3月31日	なし
6	○(理事)・監事	(ヨシオカケンジ) 吉岡 健治	2022年4月1日～ 2023年3月31日	なし
7	○(理事)・監事	(アオノタツシ) 青野 達司	2022年4月1日～ 2023年3月31日	なし
8	理事・○(監事)	(タカハシヒサシ) 高橋 久	2022年4月1日～ 2023年3月31日	なし
9	○(理事)・監事	(イトウタエコ) 伊藤 多栄子	2022年4月1日～ 2023年3月31日	なし
10	○(理事)・監事	(ナカゴミヨシタカ) 中込 祥高	2022年4月1日～ 2023年3月31日	なし

11	① 理事・監事	(ヤカベサキ)	[REDACTED]	2022年4月1日～ 2023年3月31日	なし
		矢加部 咲			

## 社員名簿（社員のうち10人以上の者の名簿）

2023年3月31日現在

特定非営利活動法人 JHP・学校をつくる会

	氏名	
1	笹平 美江子	
2	佐伯 蘭子	
3	山岡 修一	
4	佐谷 隆一	
5	脇田 知子	
6	青野 達司	
7	吉岡 健治	
8	伊藤 多栄子	
9	高橋 久	
10	中込 祥高	
11	矢加部 咲	